

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」
の項目との対応

①学校の概要、目標及び計画

学校の教育方針及び目標、特色

■本学における教育の基本理念

本学園における教育は、命の尊厳と豊かな人間性を基本とする。これに基づき、新たな時代が求める専門的な知識と技術と意思の習得を進めるとともに、地域社会において医療・福祉・健康の分野で活躍し得る職業人を育成する。

■教育方針

確かな知識と豊かな感性を育み、障害を持つ人々や高齢者のよき援助、支援者として主体的に活動できる学生の育成を目的としている。予防としての保健活動やスポーツ活動・リハビリテーション医療や地域リハビリテーションなど、全体を通して活躍する理学療法士・作業療法士の養成を目指している。

■ディプロマ/カリキュラム/アドミッション・ポリシー

学校ホームページ (https://www.sendairihabiri.jp/basic_information/) にて公開する。

■特色

医療分野の専門職を養成する本校では、新たな時代が求める専門的な知識と技術と意思の修得を進めるとともに、地域社会において医療・福祉・健康の分野で活躍し得る職業人を育成している。入学前教育を実施することで①学生意欲の継続、②新たな学びの事前学習、③入学までの心の不安の軽減を図っている。入学前教育から初年次教育への円滑な移行を図るとともに海洋リハビリテーション研修を実施し、同じ目標を志す同志が様々なプログラムを通し互いに理解・信頼を得ることができる。徹底した個人指導により、学内演習・臨床実習で専門的な技術を習得する。また、様々な国家試験対策を実施し専門的な知識を習得する。これらの特色ある教育プログラムを展開し他校との差別化を図っている。

経営方針

第一に、安定した学園経営のため、新入生の量と質を確保する。また、純然たる経営に主眼をおき、特に予算執行においては、その必要の有無を正確に見分け、無駄が生じぬよう精査に努める。本学の学生が各々の自己実現を図るためには、国家試験に合格し、その専門職に就くことが必須であることから、それらが本学の責務と捉え、その実現のため、最大限の支援を学生に対し行う。

学校名、校長名、所在地

学校名：仙台リハビリテーション専門学校 校長：渡辺 信英
設置者名：学校法人仙台北学園 理事長：大本 研二
所在地：〒981-3212 宮城県仙台市泉区長命ヶ丘4丁目15番1号

学校の沿革、歴史

平成15年4月 学校法人設立・学校設置認可
理事長 田畝 武司 就任
定員（理学療法学科30名、作業療法学科30名）
平成18年4月 理事長 安田 純二 就任
平成21年4月 理事長 田畝 誠司 就任
平成27年6月 理事長 高橋 傑 就任
平成27年6月 代表理事（専務） 大本 研二 就任
平成29年4月 定員（理学療法学科40名、作業療法学科25名）変更
令和元年10月 理事長 大本 研二 就任

学則

学校ホームページ (https://www.sendairihabiri.jp/basic_information/) にて公開する。

②各学科等の教育

各学科の教育、入試選抜方法について

パンフレット・学生募集要項及び、学校ホームページ
(<https://www.sendairihabiri.jp/recruitment/>) にて公開する。

入学者、収容定員、進級・卒業の基準

〈入学者、収容定員〉

学科名	収容定員(1学年当たり)	令和2年度 入学者	在籍者(入学者含む)
理学療法学科	40名	44名	127名
作業療法学科	25名	29名	73名

令和2年度 学校基本調査より

〈進級・卒業の基準〉

①学業成績の判定、科目修得の認定、学業成績の評価

I. 学業成績の判定

当該科目担当教員が、学科試験・実習成績及び日常の修学状況により、科目ごとに総合成績として評定する。ただし、複数の教員によって行われる科目の成績は、担当教員の中から責任者を決め、当該教員が評定をする。

II. 科目修得の認定

学業成績は、60点以上を得た科目について修得を認定する。また、大学及び短期大学並びに医療系専門学校の既修得単位を、申請により所定の手続きを経て認定することができる。

III. 学業成績の評価

試験の評価は、優・良・可及び不可をもって表し、不可を不合格とする。

各科目の総合成績は100点を満点とし、次の区分にて評定する。

優：80点以上、良：70点から79点まで、可：60点から69点まで、不可：59点以下

②進級の判定は、学年に定められた履修単位をすべて修得した者に対し、進級判定会議を経て学校長が進級を認定する。卒業の認定は、所定の授業科目のすべての試験に合格し、かつ卒業要件を満たす単位を履修したものについて卒業判定会議を経て学校長が行う。

〈卒業者、国家試験合格者、就職者〉

学科名	定員	入学時の 学生数	令和元年度 卒業者	国家資格取得者 国家試験合格者	就職者
理学療法学科	40名	37名	29名(4)	28名(4)	28名
作業療法学科	25名	24名	20名(2)	19名(2)	20名

※卒業年次の者に対する、入学時からの学生数の推移。()内は前の学年からの留年者数。就職者は斡旋希望者に対する就職者数。

カリキュラム、時間割、年間授業計画

〈学科別カリキュラム〉

学校ホームページ (https://www.sendairihabiri.jp/basic_information/) にて公開する。

〈時間割〉

理学療法学科 1 年の時間割例

令和 2 年度 前期

時限	時間	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30	心理学	人間発達学	生理学	理学療法 評価法 I	解剖学 II (筋)	
2	10:40~12:10	臨床美術	人間発達学	生理学	理学療法 評価法 I	解剖学 II (筋)	
3	13:00~14:30	社会福祉学	理学療法 評価法 I	社会科学論	理学療法 評価法 I	地域リハビリ テーション	
4	14:40~16:10		理学療法 評価法 I	理学療法 概論	理学療法 評価法 I	地域リハビリ テーション	
5	16:15~17:00						

作業療法学科 1 年の時間割例

令和 2 年度 前期

時限	時間	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30	心理学	筋骨格 測定法 I	生理学	医学英語	基礎作業 学演習 I	
2	10:40~12:10	臨床美術	筋骨格 測定法 I	生理学	筋骨格測 定法 I	作業療法 概論 I	
3	13:00~14:30	社会福祉学	人間発達学	社会科学論	筋骨格 測定法 I	地域リハビリ テーション	
4	14:40~16:10	情報処理		基礎作業 学演習 I	情報処理	地域リハビリ テーション	
5	16:15~17:00						

〈年間授業計画〉

学年	4月1日から3月31日
第一学期（前期）	4月1日から9月30日
第二学期（後期）	10月1日から3月31日

実習への取り組み

理学療法学科3年次の実習への取り組み例

授業科目名	臨床実習（Ⅱ-①、Ⅱ-②）	授業時数 又は単位数	855時間 (19単位)
実施期間	Ⅱ-① 5月下旬から7月下旬にかけて9週間、連携施設にて1日あたり8時間実施する。 Ⅱ-② 8月下旬から10月下旬にかけて9週間、連携施設にて1日あたり8時間実施する。		
実習・演習等の目的 及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員としての自覚を持つ。 ・1年次、2年次を通じての内容をさらに深め、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもと行えるレベルになる。 ・保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。 		
企業等との連携の 基本方針	<p>実習施設としての基準を満たす病院、施設等の中より、理学療法評価から実施までの一連の流れを実施できる病院・施設を選定する。また、その際、急性期・回復期・維持期といった病院の特長や、小児分野や整形分野を主とする病院等、将来、学生が就職を希望する領域についても考慮し、選定する。</p>		
企業等との連携内容	<p>事前に実習の手引きにて、実習指導者に対し、①対象者の評価及び基本的な治療プログラムの立案と実施に向けた学習 ②記録や報告・連絡・相談の適切な遂行 ③関連職種の人々と連携し、対象者を理解する ④既習の知識を統合して、実践的な理学療法を学ぶ ⑤担当した症例について症例報告書を作成する等への指導を依頼している。また、担当教員が訪問の際は、学生の状況確認や実習指導者との情報交換を行う。なお、実習終了後には、評価結果の提出を求める。</p>		
学修成果の評価方法	<p>①欠席日数が各実習施設における所定の実習日数の2割を超える者は臨床実習の評定を受けることが出来ない。</p> <p>②臨床実習における最終判断は運営会議（判定会議）を経て学校長が行う。</p>		

作業療法学科3年次の実習への取り組み例

授業科目名	臨床実習（Ⅱ-①、Ⅱ-②）	授業時数 又は単位数	855 時間 (19 単位)
実施期間	Ⅱ-① 5月下旬から7月下旬にかけて9週間、連携施設にて1日あたり8時間実施する。 Ⅱ-② 8月下旬から10月下旬にかけて9週間、連携施設にて1日あたり8時間実施する。		
実習・演習等の目的 及び概要	・実習指導者の指導のもと、臨床実習Ⅰを通じて学んだ内容を更に深め、対象者の全体像の把握、作業療法計画、治療・指導・援助などの経験を通して、作業療法士としての知識と技術および態度を身につける。 ・保健・医療・福祉にかかわる専門職としての認識を高める。		
企業等との連携の 基本方針	実習施設として基準を満たす病院、施設等の中より、作業療法評価から実施までの一連の流れを実施できる病院・施設を選定する。		
企業等との連携内容	事前に実習の手引きにて、実習指導者に対し、評価実習での依頼事項に加え、①作業療法の評価計画立案・実施 ②評価データの統合解釈・問題点の焦点化・利点の抽出 ③作業療法実施結果の考察への指導等を依頼している。また、担当教員が訪問の際は、学生の状況確認や実習指導者との情報交換を行う。なお、実習終了後には、評価結果の提出を求める。		
学修成果の評価方法	①欠席日数が各実習施設における所定の実習日数の2割を超える者は臨床実習の評定を受けることが出来ない。 ②臨床実習における最終判断は運営会議（判定会議）を経て学校長が行う。		

③教職員

教職員

本校に次の教職員を置く。

1. 学校長 1名
2. 教員 12名以上 理学療法学科6名以上 作業療法学科6名以上
3. 事務職員 3名以上
4. 学校医 1名

※学校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

※学校運営については、委員会会議・教員会議・教職員全体会議・評議員会及び理事会の会議をもって執り行う。

令和元年度の教職員数（令和2年度 学校基本調査より）

学校長	1名
本務者（教員）	12名
兼務者（教員）	13名
事務職員等	4名

研修計画

主な研修は以下のとおり、計画している。

1. 学内にてFD委員会主催の教職員向け各種スキルアップセミナー
2. 各所属団体での研修及び学会（作業療法士会、理学療法士会等）
3. 教員個人での研修

④様々な教育活動・教育環境

学校行事

以下のとおり、学校行事を行う。

4月	入学式、新入生オリエンテーション、海洋リハビリテーション研修（沖縄県）
5月	健康診断、実習指導者会議
6月	献血
7月	前期末試験
8月	夏季休暇
9月	ボウリング大会
10月	後期開始、宮城県復興マラソン大会
11月	文化祭、篠原リハビリテーション国家試験対策講義
12月	卒業判定会議、全体清掃、冬期休暇
1月	後期末試験
2月	国家試験
3月	進級判定会議、卒業式

課外活動

■各種ボランティア活動

例年担当教員を定め、学生掲示板を利用し、学業に支障が出ない範囲内で募集する。

■各種スポーツ活動

責任者となる教員を定め、希望者を募り、宮城県復興マラソンに参加している。

また、9月にはボウリング大会を開催し、学生・教員間の交流を深めている。

⑤学生の生活支援

学生の学習支援への取り組み

担任制度を設けることにより、学生個人の能力や課題を認知しやすくしている。また、年間を通して個人面談を実施し、学生個人の理解度の聴取や自宅学習についての指導を行っている。授業時間外にも補習・補講を実施し、学生の理解不十分な科目について支援を実施している。

学生生活支援への取り組み

本学では、徹底して個別指導を実施している。よって、学生に変化が生じた際は個別面談を実施し、その解決に努めている。さらに、スクールソーシャルワーカーを採用し、学生の問題に対し、保護者と教員と協力しながら問題解決を図る体制を整え、学生が持つ様々な悩みの相談とその解決に努めている。

学生の就労支援への取り組み

各卒業年次である理学療法学科3年次、作業療法学科3年次に、就職セミナーを複数回実施し、就職活動の進め方や面接、小論文の書き方等を指導し就労支援を行っている。

⑥学生納付金・修学支援

学納金

各学科の学納金は以下のとおり定める。

学科	入学金	授業料	実習費	入学時合計		2年次以降	
理学療法学科	150,000 円	1,000,000 円	500,000 円	一括	1,650,000円	一括	1,500,000円
作業療法学科	150,000 円	1,000,000 円	500,000 円	一括	1,650,000円	一括	1,500,000円

※入学試験の際、選考料として全学科一律20,000円を徴収する。

学納金以外の諸経費

上記学納金以外に関わる諸経費は以下のとおりとなる。

①教科書代、実習着代、海洋リハビリテーション研修費代、ゴニオメーター代、巻尺代

品名	理学療法学科	作業療法学科
教科書代	120,513円	114,683円
実習着一式	男子学生 9,300円	男子学生 9,300円
	女子学生 8,900円	女子学生 8,900円
海洋リハビリテーション研修代	50,000円	50,000円
ゴニオメーター	2,970円	2,970円
巻尺	660円	660円

※上記は、令和2年度の新入生の実績となる。

※教科書は原則必須である。

②各種検定代

学科により、各種検定を実施する場合は、検定代を別途実費徴収する。

③以下については、関わる諸経費を別途実費徴収する。

学外で行う臨床実習で生じた交通費や宿泊費等

※現住所、実家、または親戚宅以外の宿泊費については1/3を学校負担とする。

④学校法人仙台北学園同窓会費

一律10,000円を（卒業時に）別途徴収する。

各種奨学金

本校では以下の各種奨学金を取り扱う。（令和2年度実績）

■日本学生支援機構奨学金制度

この奨学金は返還義務が生じる奨学金制度となる。

毎年、第1種/第2種それぞれに指定枠が付与される。

その選考基準は、学業成績や生活困窮度、所得基準等に応じ決定される。第1種奨学金（無利息）の貸与月額は自宅通学の場合、20,000円/30,000円/40,000円/53,000円（自宅通学）/60,000円（自宅外通学）となる。第2種奨学金（有利息）の貸与月額は、20,000円から120,000円までの10,000円単位の金額の中から選択することができる。

■福島県理学療法士等修学資金制度

理学療法士・作業療法士等の確保と福島県内への定着を目的に、福島県で実施する制度となる。貸与月額は50,000円となる。また、新入生の場合、300,000円を上限に入学金相当額を加算することができる。返還については、卒業から2年以内に理学療法士等となり、福島県内において、貸与年数の1.5倍業務に従事した場合、返還免除の恩恵がある。

■秋田県理学療法士等修学資金制度

秋田県内における理学療法士・作業療法士等の確保と、障害のある方の社会復帰の促進に資することを目的に、秋田県で実施する制度となる。貸与月額は40,000円となる。卒業した日から1年以内に免許を取得し、直ちに秋田県内の医療施設等の職員となり、貸与を受けた期間の3/2に相当する期間以上引き続き在職したときは、返還の債務の全部を免除の恩恵がある。

■その他

県内外の医療機関等から、病院奨学金の案内があった場合は、別途伝達する。

⑦学校の財務

財務状況に関する情報

学校ホームページ (https://www.sendairihabiri.jp/basic_information/) にて公開する。

⑧学校評価

自己評価、学校関係者評価等に関する情報

学校ホームページ (https://www.sendairihabiri.jp/basic_information/) にて公開する。

⑨その他

学生寮

学生の福利厚生を目的に学生寮を有する。入寮希望は空室が生じた際、原則先着順にて受け付ける。2棟のうち1棟は女子寮とし、いずれも月額寮費は35,000円である。契約時の経費として、敷金2ヶ月、火災保険代、鍵交換費用、クリーニング費用等が必要となる。部屋は1Kタイプで、設備としてエアコン、キッチン、バスルーム、シャワー、給湯、クローゼット、バルコニー、室内洗濯機置場、靴箱があり、バストイレ別の仕様となっている。

以上